

『都市研究』（近畿都市学会学術雑誌）執筆要項・投稿規定

I. 原稿一般 執筆要項（2024年7月改定）

1. 原稿の作成

原則として、ワードプロセッサでA4版用紙に47字×43行でプリントしたもの（これがほぼ刷り上がり1頁分である）。

2. 論文等の種別

(1) 論文等は以下の5種類とする。

- 1) フォーラム論文（編集委員会の企画する特集のための中編の依頼論文）
- 2) 査読論文（若手を含めた自由投稿にもとづき査読を経る長編論文）
- 3) 研究論文（内容について原則として審査を行わない）

ただし、商業広告、社会倫理に反するもの、執筆要領を大幅に逸脱しているものなどは、必要に応じて修正を要求するか、掲載を拒否する場合がある。

- 4) まちづくり紹介レポート（大会のエクスカージョンおよび講演をベースとしたまちづくり自治体の紹介や、まちづくり研究機関の紹介からなる短編レポート）
- 5) 書評（都市に関する国内外の新刊書（投稿時点でおおむね刊行から2年以内）の紹介）
- 6) 大会の一般研究報告要旨

(2) 論文等の構成は以下のようにする（頁数は図表、注文、文献をすべて含むもの）。

- 1) フォーラム論文の構成（刷り上がり約4～8頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、本文、注、文献。
- 2) 査読論文の構成（刷り上がり約6～20頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、和文要約、和文キーワード（5文字以内）、英文アブストラクト（200語以内）、英文キーワード（和文キーワードに対応）、本文、注、文献。
- 3) 研究論文の構成（刷り上がり約6～20頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、和文要約、和文キーワード（5文字以内）、本文、注、文献。
- 4) まちづくり紹介レポート（刷り上がり約1～4頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、本文、注、文献。
- 5) 書評（刷り上がり2頁以内厳守）→ 著者名（編者名）、書籍名、出版社名、刊行年、総ページ数（「〇〇+iv頁」「254p.」のように記す）、価格（税込）、ISBN（ハイフン付き13桁）、評者の氏名、本文、注、文献。
- 6) 大会の一般研究報告要旨（1,200字以内）→ 報告題目、報告者氏名と所属、本文、注、文献。

(3) 上記とは別に、論文代表者の連絡先の住所、氏名、電話、e-mailアドレス（所有者）を

書いた別紙を必ず添付する。

3. 本文

本文の章立て番号は、章「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ…」、節「1.、2.、3.、…」、項「(1)、(2)、(3)、…」などとする。算用数字は1字のみをのぞき原則として半角とする。年次は原則として西暦で表す。「NPO」などの略語アルファベットは原則として全角とする。

4. 注（注説明は文末、脚注は不可）

注は当該箇所の右肩に上ツキ文字で 1) などのように通し番号を付し、説明は本文の次、文献リストの直前にまとめてつける。

5. 文献の表記法（文献リストは文末、脚注は不可）

本文中では、「…都市太郎・街二郎（2001）によれば…」などと引用する。本文末では、「…といわれている（都市太郎・街二郎，2001）。」などと引用する。そして、注の後、原稿の最後に、日本語文献（アイウエオ順）、欧文文献（アルファベット順）の順で文献リストをつける。

- (1) 雑誌論文（和） 著者名（年号）「論文名」「雑誌名」巻号、発行学会名。
 - (2) 単行本の一部（和） 著者名（年号）「論文名」（編者名『書籍名』）出版社名。
 - (3) 単行本（和） 著者名ないし編者名（年号）『書籍名』出版社名。
 - (4) 雑誌論文（欧） 著者名（年号）‘論文名’，“雑誌名”，Vol., No.. 発行学会名。
 - (5) 単行本の一部（欧） 著者名（年号）‘論文名’（編者名 ed. “書籍名”）出版社名。
 - (6) 単行本（欧） 著者名ないし編者名 eds. （年号），“書籍名”，出版社名。
- （※）英文で、第一著者は「姓，名（頭文字）」、第二著者以降は「名（頭文字），姓」

6. 注意

ワード等を使う場合、文書の自動設定はできるだけ解除して、テキストのみを地で書いてください。1) 章番号・段落等の自動設定を解除してください。2) 注の自動設定、脚注設定等も解除し、注・参考文献は、本文最後にまとめてつけください。

II. 査読論文投稿規定（2024年7月改定）

1. 内容

- (1) 広く、都市・まちづくりに関する学術研究論文とする。
- (2) 未発表のものとし、他の学術誌への二重投稿を禁ずる。
- (3) 近畿都市学会大会・研究発表会、または日本都市学会大会で発表した内容にかかわるものとする。

2. 応募資格

本会会員とする。

3. 原稿執筆と送付

- (1) 執筆者は、『都市研究』論文執筆要項』の査読論文に基づいて執筆すること。
- (2) 執筆者は以下の書類（データ）を下記編集委員会宛に提出すること。
 - 1) 原稿のワードファイルと PDF ファイル。著者名と所属は空欄にしてください
 - 2) 日本都市学会大会で発表した内容の場合は、そのことを証明する資料（大会名、年月日、題目と氏名が明記されたプログラムなど）。
 - 3) 論文代表者の連絡先の住所、氏名、生年月、電話、e-mail アドレス（所有者）を書いた別紙。

※生年月は日本都市学会論文賞の審査対象者（著者が掲載時 39 才以下）確認のみに活用します。該当しない方は不要です。

- (3) 本誌の掲載論文等が他者の著作権を侵害した場合、著者が一切の責任を負うものとする。

4. 査読論文の採否

査読論文は、編集委員会の複数の閲読者による閲読をうけ、編集委員会で可否を決定する。

5. 著作権

掲載した論文等の著作権は本学会に帰属する。